

エスペラント語

=== 国際共通語 *la Lingvo Internacia Esperanto* ===

入門 短期集中講座

2017年10月12日、19日、26日 [木曜夜 全3回]

背景・基礎文法・日本語との違いなど、エスペラント語の全体像を概観する講座
勉学の秋に、未知の「言語」と知り合ってください

「エスペラント語」は、母語の異なる人びとが対等な立場で理解し合うための「手段」として
1887年にザメンホフ博士が発表した計画言語で、世界各地の百万人以上が使っています

「エスペラント語」は、発音もアクセントも例外がなく、動詞の活用も単純で例外なし
それなのに、日常生活から科学・芸術などまでに対応した語彙や表現力を持つ、人間的な言語です

老いも若きもいっしょに、新しい世界に、新しい一歩を踏み出しましょう

***** ★ ***** ★ ***** ★ *****

★日時：2017年10月12日、19日、26日(毎木曜) 18:30～20:30 (全3回)

★会場：エスペラント会館 4階教室(エレベーターなし)

東京メトロ東西線「早稲田」駅下車徒歩2分(出口1番の早稲田通りをはさんだ向かい側)

★対象：中学校卒業以上(A～Zのアルファベットの文字を知っている人)で全回出席できる人
(視覚障害者の学習希望にも対応するので、遠慮なく問い合わせを)

★受講料(教材費含む)：一般1,000円、学生500円、高校生までと新宿区民は無料

★講師：菊島和子(Krizantemo) 十助手： Rond・Korno 会員

★問合せ・申込み先： Rond・Korno 電子メール korno@esperanto.ne.jp
ファクシミリ:03-3429-5196 電話:03-3429-5173 (きくしま)

●「入門短期集中講座」修了後の学習：同会場・同曜日・同時刻に学習を継続できます

エスペラント語 入門本格講座 (全7回・合計14時間)

2017年11月2日～12月21日(11月23日を除く) 毎木曜 18:30-20:30

★主対象：「エスペラント語 入門短期集中講座」修了者

(受講できなかった方も、遠慮なく問い合わせを。解説プリントや補習で支援する)

★受講料(教材費、必要な場合の補習を含む)：一般3,000円、学生1,500円、高校生まで無料

●「入門本格講座」修了後の学習：同会場・同曜日・同時刻に学習を継続できます

エスペラント語 初級講座 Katrina シリーズ 3部作 を読むクラス

2018年1月11日～ (1期8-10週で、全3期) 毎木曜 18:30-20:30

主催： Rond・Korno / Rondo Korno (「角笛サークル」の意味)

首都圏の地域エスペラント会の一つ。1965年12月の設立時から視覚障害者と晴眼者とがいっしょにエスペラントを学び、活用している。例会・学習会は毎週木曜 18:30～20:30 に早稲田のエスペラント会館で。

後援：一般財団法人日本エスペラント協会(JEI)

国際共通語 **エスペラント** とは？ Kio estas Esperanto?

● **誕生日のある言語**：現在のポーランドの地(当時はロシア領)にいたユダヤ人眼科医ザメンホフ博士が創案し、1887年7月26日に出版許可を得て発表した計画言語。使用者同士は、民族・言語や社会的・経済的・政治的背景を超えて、平等・対等な立場で話し合える。

ザメンホフ博士は、ユネスコが、2017年に「没後100周年」を記念する人物の一人に選ばれた。

● **合理的で例外のない発音と文法**：一般の民族語に比べると習得が容易であり、同時に表現力も豊か。日本語を母語とする人でも、英語などの100分の1程度の労力で習得できると言って過言ではない。言語習得には努力が必要だし個人差はあるが、週1回2時間1年間程度(実質80~100時間)の講習で、英語でなら中学校~高等学校卒業の程度に習得できる。文字と発音が一致している上に母音が日本語と同じ5つで聞き取りやすく発音しやすいので、書籍だけの独習でも実用できるし、書き言葉と話し言葉が一致しているので会話に入りやすい。講習会、通信講座(<http://www2.tokai.or.jp/esperanto/>)、インターネット上の講座(クルソ・デ・エスペラント日本語版 <http://kurso.com.br/index.php?ja>、レルヌ日本語版 <http://lernu.net/ja>、英語の知識を活用して学ぶエスペラント <http://plaza.harmonix.ne.jp/~sakat/> など)、合宿形式の講座、音声・ビデオ教材、独習用書籍など、学習の手段は多種多彩。エスペラント文を読み上げる無料ソフトやパソコンで使える無料辞書(下記 JEI ホームページからダウンロードできる)もある。2006年 JEI 発行の『エスペラント日本語辞典』(B6判 1,328頁の中型辞典、本体 6,000円)は充実した学習辞典。持ち歩きには大学書林発行の『エスペラント小辞典』(ポケット判 520頁、両引き、本体 3,800円)も手軽。

日本各地の行事や学習機会・教材についてのお問い合わせは、一般財団法人日本エスペラント協会(JEI = Japana Esperanto-Instituto) 162-0042 東京都新宿区早稲田町12-3 電話 03-3203-4581 ファクシミリ 03-3203-4582 メール esperanto@jei.or.jp ホームページ <http://www.jei.or.jp/> へ。

● **エスペランティスト(エスペラント使用者)の数は?**：一般財団法人日本エスペラント協会は会員約1,250名、世界エスペラント協会(本部はオランダのロッテルダム <http://www.uea.org>)は個人会員約5,000名・団体会員約10,000名。しかし、この数はエスペランティストの中の組織化された一部に過ぎず、実際には100万人以上。世界中に散在しているので、エスペラントを使うと世界中に友だちをつくれる。専門分野ごとの国際組織・情報交換網や都市・分野ごとの世話人網、旅行での家庭宿泊網も広く展開されており、活用の可能性は無限にある。いろいろな内容・対象の雑誌や、原作・翻訳での書籍の出版も盛ん。

● **国際行事で手軽に「地球人体験」を**：毎日、世界各地でエスペラントを使つての国際行事が開催されている(<http://www.eventoj.hu/kalendaro.htm> はカレンダーの一つ)。どの行事も「通訳のいない国際会議」そのもの。日本の初心者でも、国境も言語の壁も忘れて「地球人」になれる。

最大の行事は**世界エスペラント大会**で、毎年夏の1週間に数十か国の2,000~4,000名の参加で開催され、日本からだけでも例年200名ほどが参加する。2017年第102回は7月22-29日に韓国のソウル市で62か国の1168名で開催。2018年は7月28日-8月4日にポルトガルリスボンで、2019年はフィンランドのラハティ(Lahti ヘルシンキの北北東100km)で、2020年はカナダのモントリオールで。若者だけの**国際青年エスペラント大会**は1週間の国際合宿で、2017年の第73回は8月5-12日に西アフリカのトーゴのアネホで。地域ごとの大会もあり、隔年の**アジア・エスペラント大会**は、2016年第8回は11月3-6日に中国福建省泉州市で。日韓中越持ち回りの**東アジア青年セミナー**も毎年開かれ、日本担当の2016年第35回は12月2-5日に大阪市で。教員・教育者組織 ILEI の大会も毎年で、2017年第50回は7月15-22日に韓国のプサン、2018年は7月21-28日にスペインのマドリッドで。ほかにものんびり休暇を過ごす行事、特定のテーマでの交流行事、エスペラントを勉強する行事など、大小・長短・多種・多様にある。一度参加したら初心者でも病み付きになること請け合い。国際恋愛・結婚が産まれるのも当然の雰囲気がある。

日本国内でも、全国大会や地方連盟大会、学習中心の合宿などが開催される。2017年第104回**日本エスペラント大会**は11月3-5日に横浜で。2018年第105回は10月12-14日に奈良で「**第2回日韓共同開催エスペラント大会**」として開催され、韓国以外も含めて外国から約100人の参加が予定されている。

● **世界中で家庭に泊まれる!**：エスペランティストを対象にした**国際家庭宿泊ネットワーク**があり、自分は泊められない人でも外国の家庭に宿泊でき、家族のように迎えられる。お礼は「エスペラントで話すこと」。日本に居て、遠い国からのお客を泊めたり案内したりするのも楽しい。だから、若者ばかりでなく、定年退職後に学習を始めて一味違う「国際的な生活」を楽しむ年金生活者も多い。